単元名　スイミー（全１０時間）　単元構想図

学びのストーリー（単元の流れ）

1次　①②どんなお話なの？　（既有知識の整理と共有）

◎作品を読んで感想を言い合う　T「どんな話だった？」
- スイミーがかわいそうだった。　・クラゲもいたよ。
- 最後は大きな魚をおいはらえてよかったね。
- 水中ブルドーザーっていうのが出てきたよ。
- スイミーって頭がいいと思った。

◎物語の要素を抽出して、場面に分ける。
- 場所…広い海のどこか
- 主人公…スイミー
- 話の流れ…①~~兄弟と~~**たのしく**暮らしていた　②マグロにおそわれた
  ③~~一匹で海を泳いだ~~**いろいろなものを見た**
  ④別の赤い魚たちに出会った　⑤大きな魚をおいはらった

◎単元の目標を決める。
- もっと詳しく知りたいな　・絵がないとつまんない
- 絵~~がほしい~~**を描きたい**　・絵をかいてスイミーの本を作りたい。
- **スイミーの劇をしたい**　・**魚調べをしてみたい**

単元クラス目標：スイミーをくわしく読んで絵をかき、劇をつくろう

- **劇を作る前に絵があると分かりやすくなる**
- **絵をかく前に、もっとスイミーを読んでくわしくなろう。**
- さいしょのところから読んでいこう！

2次　③~⑦　詳しく読んで絵を描こう

◎本文をもとに各場面の様子を調べて、その様子の絵を描く。描いた絵を、共有し、足りないものや、相手のイメージした様子と比較しながら、さまざまに考えを広めたり深めたりしながら物語を楽しむ。

からす貝？

③~~兄弟と~~**楽しく**暮らしている場面（１の場面）
- 場所…広い海のどこか
- だれ…小さな魚の兄弟たち　カラスガイよりも真っ黒なスイミー
- 様子や事実…**楽しく**暮らしていた
- ＋α…一緒に遊んでそうだよね。何か話とかもしてそう。歌とか歌ってるかもしれないよ。親はいるのかな？　どのくらい兄弟がいるんだろう？

まぐろって何色？

④マグロにおそわれる場面（２の場面）
- いつ…ある日
- だれ…マグロ、小さな魚の兄弟たち、スイミー
- 様子や事実…ロケットみたいに突っ込んできた
  一口で小さな魚の兄弟たちがのみこまれた
  にげたのはスイミーだけ、こわい、さびしい、かなしい
  スイミーは暗い海の底を泳いだ
- ＋α…**兄弟たちがいなくなってかなしい　食べられたんじゃない**
  すっごくこわいよ。**まぐろがこわかったんだね。**
  見つからないようにしているんじゃない？黒いから。

本時⑤**⑥いろいろなものを見る場面（３の場面）**
- **場所…海**
- **だれ…スイミー、水中ブルドーザーみたいなイセエビ、にじいろのゼリーのようなクラゲ、うなぎ、イソギンチャク　見たことない魚**
- **様子や事実…スイミーは少しずつ元気を取り戻した**
- **＋α…虹色のクラゲとか見てみたい。水中ブルドーザーってことは　すごく大きなイセエビだったのかな？ウナギとかこわそう**
  見えない糸でひっぱられているって、どういうこと？

⑦別の赤い魚たちに出会った場面（４の場面）
- 場所…岩かげ
- だれ…スイミー、小さな赤い魚の兄弟。
- 様子や事実…出て来いよ。みんなで遊ぼう。初めての台詞
  大きな魚に食べられてしまうよ。（マグロではない）
  みんないっしょにおよぐんだ。（考えた時間は…）
- ＋α…スイミーも安心したんじゃないかな。よかったね。でも、みんな諦めている。楽しく遊べなくてかわいそう。

⑧大きな魚を追い払う場面（５の場面）
- 場所…朝の冷たい光の中　昼のやさしい水の中
- だれ…スイミー、小さな魚の兄弟、大きな魚
- 様子や事実…僕が目になろう
  みんなが一匹の魚のように泳げるようになった。
- ＋α…みんな頑張ったんだね。ようやく平和になった。小さいけど力を合わせれば大きな魚にも勝てるね。スイミーよかったね。

- 場面の絵ができたよ。　・劇を作っていこうよ。
- ２の場面を作りたいな　・ぼくは５の場面がいいな

3次　⑨⑩げきをつくろう

◎グループで好きな場面ごとにミニ劇をつくって、見せ合う⑧⑨
- 兄弟がたくさんいていいね。　・まぐろがすっごく大きいんだ。
- クラゲがかわいいね。　・スイミーが楽しそうに泳いでいるよ。
- うなぎ長っ！　・すごくきれいだね。

あらすじをつかみ、単元を貫く目標を立てる

貫く目標のために場面ごとにあらすじを捉えつつ、内容についての理解を深化させる

授業デザイン

手立てや概念(ストーリーの把握)
レオ＝レオニの挿絵を抜いた教科書のコピーを使用し、文章の言葉をもとにして自由にイメージを膨らませるようにする。

響き合う
物語の初発感想を自由に話し合い、いろいろな友だちと交流し感想を伝え合う。

響き合う
活動の様子をイメージさせて、そのために何が必要かを交流の中で共有し、~~絵本作り~~**活動**への意欲を高める。

手立てや概念
~~絵本作り~~の流れ(＝授業の進め方)を確認して、学習方法の方のイメージをもつ。個人読み→お絵描き→交流→かきたし→教えてくれた人ありがとう

手立てや概念
教科書の叙述から分かることを見つけて、学級で共有し、内容を理解する。

自己調整
想像によって異なる部分は自分のイメージを大切にする。

手立てや概念
実物の大きさを実感するなどして、スイミーの感じた気持ちを追体験する

手立てや概念
倒置や比喩などの技法に触れながら、物語の面白さを理解する。

響き合う・高め合う(ストーリーのイメージ)
絵を描き、視覚的なものにして友だちと紹介し合いながら、相手のイメージと自分のイメージを比べる。また、新しい発見や気づきがあったら、友だちと共有し、物語の世界観を補い合う。

自己調整(高め合いによる捉えの変化)
自分と違うイメージの児童と交流しながら、よりよい意見を取り入れてより豊かに物語を捉える。

響き合う
新たな気づきや情報をくれた児童を発表し合い、お互いの着目した視点の面白さを共有する。

友だちとの共有を経て、物語の読みが深まる中で、徐々に好きな場面が選択されていく。

響き合う
好きな場面ごとにグループを作り、ミニ劇を考えて発表・紹介し合い、物語の読み方の自由度や広さに触れながら、より内容の理解を深める。

評価規準／評価方法

・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
（発言・プリント）

・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
（プリント挿絵、発言）

・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の様子や行動を具体的に想像している。
（プリント挿絵・発言）

・粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の考えたことや捉えたことを伝えようとしている。
(発言)

・粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の考えたことや捉えたことを伝えようとしている。(発言)

願う子どもの姿

・物語に使われている言葉に着目しながら、物語文の順序や内容の大体をつかむことができる姿

・得られた情報をもとに、友だちと情報を共有したり**補い合ったりして**、自由に場面の様子を表現する姿